

HANDEL FESTIVAL JAPAN 2005

HFJ Vol.3 HANDEL AT COVENTGARDEN

HANDEL, A MAN OF PASSION & A MAN OF THEATRE

激情人、劇場人ヘンデル

主催:「ヘンデル・フェスティバル・ジャパン」実行委員会
 制作統括/監修:三澤寿喜
 助成:財団法人 三菱信託芸術文化財団
 協力:朝日新聞社 久保田チェンバロ工房
 東京古典楽器センター 池上ルーテル教会
 後援:(株)全音楽譜出版社
 マネージメント:アレグロミュージック 03-5216-7131
 チケット取り扱い:
 アレグロミュージック 03-5216-7131
 CNプレイガイド 0570-08-9990
 朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990
 東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452
 (企画1はアレグロミュージックのみにて取り扱い)

Organized by Committee of HANDEL FESTIVAL JAPAN
 Directed, Produced and Edited by: Toshiki Misawa
 Sponsored by The Mitsubishi Trust Foundation for the Arts
 Supported by The Asahi Shimbun,
 Akira Kubota Harpsichord Workshop,
 TOKYO KOTEN GAKKI CENTRE and Ikegami Lutheran Church
 Endorsed by ZEN-ON MUSIC CO., LTD
 Allegro Music (Management Agency): TEL: +81-3-5216-7131
 For further information, please contact:

コヴェントガーデンのヘンデル

◎企画2◎

ヘンデル・オラトリオからの 知られざる合唱名曲選 (解説付き)

「聴いてびっくり!!」というヘンデルの知られざる合唱の名曲をたっぷり。ヘンデルだけを歌うために誕生した「キャノンズ・コンサート室内合唱団(CCCC)」のデビュー公演。

2005 12月16日(金) 18:45

会場:浜離宮朝日ホール

朝日新聞東京本社・新館 TEL.03-5541-8710

出演:キャノンズ・コンサート室内合唱団

指揮:辻 裕久

ポジティブ・オルガン:勝山雅世

チェンバロ:郡司和也

チェロ:懸田貴嗣

話し:三澤寿喜

入場料:4,000円(全席自由)

学生 2,000円 (当日のみ:アレグロミュージックにて電話予約可、当日渡し)

PROJECT II "Unknown choral masterpieces from Handel's oratorios" (With commentary)

Time: 18:45 Friday 16th December, 2005 Venue: Hamarikyu Asahi Hall, Tokyo

Performers: CANNONS CONCERT CHAMBER CHOIR

Positive Organ: Masayo Katsuyama Cembalo: Kazuya Gunji Cello: Takashi Kaketa

Conductor: Hirohisa Tsuji

Commentator: Toshiki Misawa Tickets: ¥4000, Students=¥2000 (Free seating)

お得な3公演通し券<前売りのみ>
 (アレグロミュージックにて取り扱い)
 S席3公演通し券=11,000円
 A席3公演通し券=10,000円

◎企画1◎ 講演会

コヴェントガーデンのヘンデル

オペラからオラトリオへ。「劇場の雇われ作曲家」から「自主興行主」へ。革命児ヘンデルの晩年の軌跡をたどります。

2005 12月10日(土) 15:00

会場:目白聖公会

東京都新宿区下落合3-19-4 TEL.03-3951-5010

講師:三澤寿喜

入場料:2,000円(全席自由)

PROJECT I

LECTURE "Handel at Coventgarden"

From opera to oratorio. From an employed theatre composer to an independent impresario

Lecturer: Toshiki Misawa

Time: 15:00, Saturday, 10th December, 2005

Venue: Mejiro Seikokai (Anglican-Episcopal Church), Tokyo

Ticket: ¥2000 (Free seating)

Project III THE CHOICE OF HERCULES (HWV69) (The first performance in Japan)

Two Concerti Grossi from "12 CONCERTI GROSSI" Op.6

Time: 19:00, Friday 13th January, 2006 Venue: Hamarikyu Asahi Hall, Tokyo

Performers: Yoshikazu Mela (Hercules), Yukari Nonoshita (Pleasure),

Mutsumi Hatano (Virtue), Hirohisa Tsuji (Attendant), Takashi Watanabe (cond/cemb)

Orchestra & Choir: CANNONS CONCERT CHAMBER ORCHESTRA & CHOIR

Choirmaster: Hirohisa Tsuji Tickets: S=¥6500, A=¥5500, Students=¥3000

◎企画3◎

《ヘラクレスの選択》

HWV69全曲(本邦初演)

ヘンデル晩年(65歳)の傑作

寓意的オラトリオ(幕間音楽劇)

「合奏協奏曲集 作品6」より

第10番 二短調 HWV328

第11番 イ長調 HWV329

バロック期の合奏音楽の頂点

2006 1月13日(金) 19:00

会場:浜離宮朝日ホール

朝日新聞東京本社・新館 TEL.03-5541-8710

出演:米良美一<ヘラクレス>

野々下由香里<快樂>

波多野睦美<美德> 辻 裕久<従者>

キャノンズ・コンサート室内合唱団&合唱団

指揮/チェンバロ:渡邊 孝

合唱指揮:辻 裕久

入場料: S=6,500円 A=5,500円

学生 3,000円 (当日のみ:アレグロミュージックにて電話予約可、当日渡し)

第3回 ヘンデル・フェスティバル・ジャパン 2005

コヴェントガーデンのヘンデル

■ヘンデル・フェスティバル・ジャパン (HFJ)

ヘンデル没後250年となる2009年を見据えながら、2003年より開始したHFJは、声楽曲から器楽曲まで広汎なヘンデル作品を包括的、継続的に演奏し、とくく(メサイア)に偏りがちな「ヘンデル像」を直し、直接的な表現力に富むヘンデル作品の真の魅力を浮き彫りにします。03年(第1回)は「キャノンズのヘンデル」と題して、ヘンデルのキャノンズ時代の傑作《エイニスとガラテア》を中心に初期の英語作品を、04年(第2回)は「ローマのヘンデル」と題して、ヘンデルのイタリア時代の傑作《復活》を中心にカンタータや二重唱など初期のイタリア語作品を紹介し、いずれも好評を得ました。05年(第3回)は「コヴェントガーデンのヘンデル」と題して、オラトリオを中心とするヘンデルの晩年の音楽活動を紹介します。

■企画1: 講演会「コヴェントガーデンのヘンデル」

イギリスに渡ったヘンデルは死ぬまでひたすらロンドンの劇場で音楽活動を展開しました。1710年代、20年代はヘイマーケット国王劇場においてイタリア・オペラを上演し、30年代はそれと平行して新しいオラトリオの道を模索し始め、40年代になるとコヴェントガーデン王立劇場でのオラトリオに完全に方向転換します。同時に、劇場雇いの身分から独立し、自ら興行主となって劇場を借り、歌手やオーケストラを雇い、当日券販売によるオラトリオ上演を取ります。晩年の勇気ある彼の行動を通じて、人間ヘンデルとその作品の魅力に迫ります。

■企画2: 「ヘンデル・オラトリオからの知られざる合唱名曲選」(解説付き)

合唱の大家ヘンデルには合唱の名曲が山ほどあります。シンプルでありながら、豊かな響きをもち、立体的で多彩なヘンデルの合唱曲。その中でも日頃あまり演奏されない「知られざる名曲」を10数曲ご紹介します。選曲にあたっては、企画と関連させながら、「1730年代の模索期から40年代以降のオラトリオへ」という軌跡を辿りつつ、純粋な合唱曲に加えて、独唱と合唱が組み合わされた楽しい作品も取り上げます。

背景写真: HFJ2004、ヘンデル・オラトリオ《復活》 2004年12月16日 浜離宮朝日ホール 撮影: 高田豊

〈企画2・曲目〉

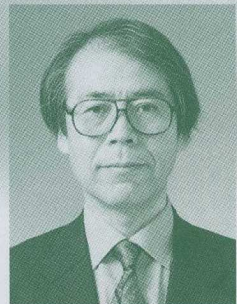
- オラトリオ《アタリア》(HWV52)より ジョアドのアリア "Gloomy tyrants"—合唱 "Hallelujah"
- オラトリオ《サウル》(HWV53)より
ソプラノのアリア "In sweetest harmony"—ダヴィデとイスラエル人の合唱 "Oh fatal day!"
- オラトリオ《陽気の人、ふさぎの人、温和の人》(HWV55)より
合唱 "Thy pleasures, Moderation, give"
- オラトリオ《メサイア》(HWV56)より 合唱 "For unto us a child is born"
- オラトリオ《テオドーラ》(HWV68)より テオドーラとキリスト教徒達の合唱 "Blest be the hand"
- 他 (曲目は変更する場合があります)

Project II program

- Oratorio ATHALIA (HWV52) Air (Joad) "Gloomy tyrants"—Chorus "Hallelujah"
- Oratorio SAUL (HWV53)
Air (Sop) "In sweetest harmony"—Chorus of David & Israelites "Oh fatal day!"
- Oratorio L'ALLEGRO (HWV55) Chorus "Thy pleasures, Moderation, give"
- Oratorio MESSIAH (HWV56) Chorus "For unto us a child is born"
- Oratorio THEODORA (HWV68) Chorus of Theodora & Christians "Blest be the hand"
- & Others

■企画3: 《ヘラクレスの選択》HWV69全曲(本邦初演)

65歳で作曲した幕間音楽劇。内容的には「寓意的オラトリオ」。青年ヘラクレスは「快楽」と「美德」からそれぞれの道へと誘われますが、最後は「美德」の道を選択し、神々に列せられます。明快なストーリーをもち、小規模の作品ながら魅力的で簡潔な独唱、重唱、合唱が手際よく良く結合されており、オラトリオのエッセンスを堪能できる晩年の傑作です。1751年3月1日、コヴェントガーデンにおける《アグレッザンダーの饗宴》の再演時に、その第3部として初演。
「合奏協奏曲集 作品6」より第10番二短調(HWV328)、第11番一長調(HWV329)。ヘンデル円熟期の器楽の傑作。1739年9月末から10月末までのおよそ1ヶ月間で12曲の合奏協奏曲を一気呵成に作曲。それらは数々のオルガン協奏曲同様、オラトリオの幕間演奏用の作品でした。本企画では《ヘラクレスの選択》の上演に先立ち、2曲の合奏協奏曲を演奏します。



三澤寿喜
Toshiki Misawa
(企画1,2)

HFJ実行委員長。音楽学、ヘンデル研究。国立音楽大学大学院修了。主要訳書:ホグウッド「ヘンデル」(東京書籍)、P. ウィリアムズ校訂「ヘンデル・クラヴィア曲集」(音楽之友社)、他。主要編者書:「ヘンデル二重唱曲集」(音楽之友社)、「ヘンデル・アリア選集1, 2, 3」(共編者:全音楽譜出版社)、他。北海道教育大学函館校教授。



辻 裕久
Hirohisa Tsuji
(テナー:企画2,3)

HFJ実行委員。東京芸術大学声楽科卒、同大学院修了。英国王立音楽院大学院名譽ディプロマ取得。1994年、故ダイアナ妃バトロナイジによる《メサイア》演奏会のソリストとしてロイヤル・フェスティバルホールにデビュー。以来欧米各地で活躍。英国グレートエルム声楽賞、第32回フランススコ・ヴァニヤス国際声楽コンクール第3位、同最優秀オラトリオ・リート歌手賞、ニューヨーク・オラトリオ連盟コンクール・ファイナリスト賞他を受賞。CD「ブリティッシュ歌集」《メサイア》等。



渡邊 孝
Takashi Watanabe
(チェンバロ/指揮:企画3)

東京音楽大学を経て桐朋学園大学研究科を修了。2002年よりアムステルダム音楽院、今からはミラノ私立音楽院に在籍中。ソロ、コンティヌオ奏者として日本、ヨーロッパ各国で活躍中。2004年イタリア・ロヴェレートで行われたボンポルティ国際コンクールに於いて、アンサンブル「Ricoercation d'Arcadia」として第1位を受賞。2005年7月に行われたスロヴェニア・イタリアツアーでは各地で大好評を博した。これまでにチェンバロを渡邊順生、B.v.アスヘレン、オルガンをシギエルミに師事。



米良美一
Yoshikazu Mela
(カウンターテナー:企画3)

「もののけ姫」で一世を風靡し、グルベローヴァやコヴァルスキーとの共演でも話題を集める。1998年第12回日本ゴールドディスク大賞のベスト・クラシック・アルバム・オブ・ザ・イヤー、第21回日本アカデミー賞協会特別賞として初の主題歌賞を受賞。BISレーベルやキングレコードより多数のCDを発売。2004年、故郷の宮崎県西部市の「植樹祭」にて天皇陛下の前で歌を披露。2005年にはドイツのシュレースヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭に出演し、好評を博した。



野々下由香里
Yukari Nonoshita
(ソプラノ:企画3)

東京芸術大学声楽科卒業、同大学院修了。関西フランス音楽コンクール、第4回日仏声楽コンクールともに第1位入賞。パリ・エコール・ノルマル音楽院留学中ナント・トゥールーズ、リオ・デ・ジャネイロ等国際コンクールに入賞。1989年「フィガロの結婚」ケルビーノ役でレナタ劇場にデビュー。現在は「パッサ・コレギウム・ジャパン」のソリストとして、国内外の公演・録音に参加。日本フォーレ協会、コンセルヴァトワール、東京芸術大学古楽科(バロック声楽)助教授。



波多野睦美
Mutsumi Hatano
(メゾ・ソプラノ:企画3)

ロンドンのトリニティ音楽大学専攻科修了。リユートソングのリーディングアーティストとして国内公演を重ね、海外の音楽フェスティバルに出演。またルネサンス・バロックから近現代の歌曲を重要なレパートリーとし、2001年アメリカ・ミネソタで間宮芳生の委嘱作品を世界初演、2005年カリフォルニアのパシフィック・リム音楽祭で再演。バロックオペラ、宗教曲のジャンルでも高く評価される。CD作品も「優しい森よ」「ひとときの音楽」など多数発表。

キャノンズ・コンサート室内合奏団 CANNONS CONCERT CHAMBER ORCHESTRA (CCCO)

2003年、HFJ専属オーケストラとして設立。ヘンデルが1718年頃に滞在したシャンドス公爵の壮麗・豪華な邸宅「キャノンズ邸」の専属合奏団「CANNONS CONCERT」に因む。
メンバー: 松永綾子(Vn,Cm) 山口幸恵(Vn) 渡邊さとみ(Vn) 中丸まどか(Vn) 深沢美奈(Va) 懸田貴嗣(Vc) 多井智紀(Vc) 前田芳彰(Cb) 三宮正満(Obl) 江崎浩司(Ob,Fg) 築城玲子(F) 斉藤崇徳(F) 神代 修(Tp) 三澤 徹(Tp) 下田太郎(Hrn) 飯島さゆり(Hrn)

キャノンズ・コンサート室内合唱団 CANNONS CONCERT CHAMBER CHOIR (CCC)

2005年、HFJ専属合唱団として設立。名称の由来はCCCOに準じる。
メンバー: 広瀬奈緒 本宮麻子 山崎千恵 若林三千代 小野綾子 宮崎恵美子 横町あゆみ 藍原範道 福島康晴 水越 啓 小家一彦 酒井 崇 渡辺祐介 他

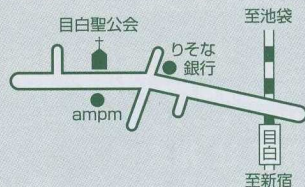
《 HFJを支援する会 — HANDELIAN — 》

2003年より開幕したHFJはヘンデル作品がわが国においても正当に評価されるよう、その魅力を演奏やレクチャー活動を通じて紹介していきます。しかし、大掛かりな舞台作品を上演し、完成度の高い演奏を維持するためにはご理解ある方々のご支援が欠かせません。そのために「HFJを支援する会」(HANDELIAN)が発足しました。年会費は1口1万円。会員特典はHFJの公演プログラムへのお名前記載(ご希望により)、HFJの主催公演の優先予約と割引(概ね3割引き)、公演プログラム贈呈、演奏者や研究者との交流、リハーサル見学、会員番号としてお好きなヘンデル作品番号HWVの取得(先着順、重複不可)などがあります。法人会員については別途お問い合わせください。

目白聖公会

Mejro Seikokai
Anglican-Episcopal Church, Tokyo
東京都新宿区下落合3-19-4
TEL.03-3951-5010

JR山手線「目白駅」から徒歩5分



ご案内

- 都営地下鉄大江戸線・豊地市場駅A2出口、0分。
- 地下鉄日比谷線・東段通駅6番出口、築地橋、2番出口から徒歩7〜8分。
- 都営浅草線・東段通駅6番出口から徒歩7〜8分、新橋駅から約15分。
- 有楽町線有楽町駅から徒歩約15分。
- 有楽町線池袋駅から都営バス(有)3系統「中央池袋市場行き」または「朝日新聞通り」または「丸の内線」または「朝日新聞通り」下車。
- 駐車場は近くの首都高池袋分岐下駐車場をご利用ください。(問い合わせ先:03-3542-0341)

朝日新聞東京本社

●浜離宮朝日ホール
〒104-8011 東京都中央区築地5丁目3番2号
TEL.03-5541-9710 FAX.03-5541-4705
http://www.asahi.com/asahihall/

